

知る 深める 生き抜く

# 学ぶ



東海学園大特命副学長

上田紀行さん

うえだ・のりゆき 1958年生まれ。東京都出身。東京大卒、同大博士課程単位取得退学。岡山大で博士号(医学)。文化人類学を専攻し、86年からスリランカで「悪魔払い」の風習を研究。愛媛大助教授を経て、96年度から2023年度まで東京工業大に在籍。16年創設の同大リベラルアーツ研究教育院の初代院長となり、その後副学長も務めた。著書に「生きる意味」「がんばれ仏教!」など。

上田さんの詳細な経歴などは、東海学園大のウェブサイトではQRコードで紹介している。



## 今 教育を考える

少子化が進み、大学への入学希望者総数が入学定員総数を下回る「全入時代」を迎えている日本。これまで以上に「なぜ」「何を」大学で学ぶのか、大学はどんな場なのかか問われている。日本を代表する理系大学の東京工業大で、幅広い学問分野を学

び、多角的な思考を養う「リベラルアーツ教育」を推し進め、4月に東海学園大(愛知県みよし市、名古屋市天白区)の特命副学長・卓越教授に就いた上田紀行さん(66)に、大学で学ぶ意義を尋ねた。

(日下部弘太、酒井博章)

## ● 大学で学ぶ意義とは ●

「リベラルアーツ教育とは。リベラルが『自由にする』『アーツが』。人間を自由にする技という意味です。古代ギリシャ・ローマ時代の『自由市民』になるための学問が原義です。1990年代後半より、成果主義や新自由主義が強まり、大学は「即戦力」の育成を求められましたが、卒業生の人間的な迫力がなくなり、革新的な人も生まれませんでした。即戦力をつくる教育で、システムの中で付度して良い点数が取れる人をいくら育てても、イノベーション(革新)が起きるわけがない。それが理解されてきたのが2000年代後半くらい。自田人になるという意味のリベラルアーツが着目されてきました。

「即戦力を育てるのは良くない。先生が作った問題に最短で正解を出すことを、小学校時代から繰り返して、受験勉強でもやっているけれども、イノベーターは自分で問いをつくる人です。初期条件が与えられた中で最適解を選ぶ。これはAI(人工知能)が一番得意なこと」と問題を出してくれられた「解ける」という教育は、わざわざAIに負けて行く人間をつくり出しているんです。初期条件を疑って書き換えるとか、誰も問っていない

## 優等生でなく自由人に



東海学園大で学生に講義をする上田紀行さん。名古屋市天白区で

「東工大ではどんな取り組みをしましたか。新入生は入学直後の『東工大立志プロジェクト』という講義で毎週、著名な講師の話聞き、4人1組で議論します。少人数だから、自分の発言に他の人が『そんな視点なかったな』と反応し、世界観が変わる。自分が動けず世界を変えていくことに、入学直後から気づいてほしい。3年時には『教養学論』として、5千1百1万のレポートを課します。導入して、キャンパスが明るくなったと言われました。授業後に学生が議論しながら教室から出てくる。本を読むようにもなり、学生の視野が広がった。地域おこし協力隊員として林業に深く入りながら交流サイト(SNS)で発信するといった、今までの東工大にはなかった進路を選んだ卒業生も出てきました。

東海学園大では、大学が掲げる教育理念「共生」を生かし、

言葉

普通じゃない人、少し過剰な人と触れ合っ  
てほしい



発行所 中日新聞社  
名古屋市中区三の丸一丁目6番1号  
〒460-8511 電話 052(201)8811

東海学園大特命副学長上田紀行さん 18面

2024年 5月31日(金)  
(令和6年) 世界禁煙デー

きょうの紙面

【1面】

2024年5月31日中日新聞掲載

## 視野を広げ自分を深掘り

新たなカリキュラムをつくりたい。世界の1000人余りの賢人会議「ローマクラブ」の日本支部が本学に置かれることになっており、日本の精神を体得しながら、グローバルに活躍できる人を生み出す場にしたいです。

「学生は、大学で何を学んだらいいでしょうか。大学は、視野を広げて自分を深掘りする場。高校までの学びとは相当違う。修練の部分ももちろんあるけど、それに加え、自由人になっていく場です。定型化された「褒められる人生」を目指さず、自分が一番ワクワクするところへは、ご自分の心を主眼に置いてほしい。

「役に立つことを効率的に」というのは捨て、何でも「数打ちや当たる」でやる。例えば100本の映画を見たから、自分が好きな映画と嫌いな映画は分かる。「嫌い」を体験するのも大事なことです。もう一つは、志のある人とたくさん会い、自分の志を話さず、普通じゃない人、少し過剰な人と触れ合っしてほしい。大学って、かなり過剰なことだと思っ。

「大学側は、学生に何を提供すべきでしょうか。大学の個性や目指す姿が問われ、それが大学は淘汰されてしまつてしまふ。そこで学ぶと、創発性や自己肯定感が高まるか、しなやかに生きるための知恵や技を、身につけられるか。それって、偏差値の高低じゃないんです。偏差値が高い大学や、名前の知られた企業が良いというのには、僕には嫉妬の道に見えるけどね。この企業に入ったからどうだなんて言ってる奴隷の集まりになる。この社会に自由な魂を持つ人がどれだけ増えるかが、すごく大きな指標です。

上田さんのインタビュー動画QRコードから

